

教科(科目)	国語	総時数	140 時間	学年(コース)	2 学年
使用教科書	国語2（光村図書）				
副教材等	『中学必修テキスト』、『漢字ノート』				

1 学習目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ① 課題解決のために対話活動を取り入れ、主体的に探求する態度と能力を育てる。
- ② 作文やスピーチなどの表現活動を充実させることで、自分の考えを表現する力を育てる。
- ③ 日々の漢字や語句の学習を継続することで、語彙を豊かにするとともに、漢字検定4級の取得を目指す。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	言葉に出会うために	学習ガイダンス 見えないだけ	・国語を学ぶ意義、学習の仕方を理解する。 ・詩の音読を通して言語感覚を豊かにする。	4	授業態度
5	1 広がる学びへ	アイスプラネット 枕草子 熟語の構成	・小説を読み、場面の展開の仕方を捉える。 ・古文を読むことを通して、清少納言の物事の見方を理解し、自分の考えを広げる。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査
6	2 多様な視点から	クマゼミ増加の原因を探る 主張文を書く 文法への扉1	・説明文を読み、全体と部分を捉えるとともに、文章と図表の関係を読み取る。 ・主張文を書き、その発表をする。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査
7	3 言葉と向き合う	短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉の力 類義語・対義語・多義語	・短歌を読み、表現の効果を読み取り、表現を工夫しながら短歌を創作する。 ・随筆を読み、自分の考えを広げる。	14	授業中の活動 ワークシート 定期考査
8	読書生活の豊かに	読書を楽しむ	・小説を読むことを通して、自分の考えを広げる。	4	授業中の活動 ワークシート 定期考査
9	4 人間のきずな	盆土産 字のない葉書 敬語 同じ訓・同じ音をもつ漢字	・小説を読み、登場人物の言動の意味を読み深める。 ・随筆を読み、表現の効果を読み取る。	14	授業中の活動 ワークシート 定期考査
10	5 論理を捉えて	モアイは語る 月夜の浜辺	・論説を読み、論理展開を読み取るとともに、自分の考えを広げる。 ・詩を読んで、表現の効果を考える。	14	授業中の活動 ワークシート 定期考査
11	6 いにしへの心を尋ねる	源氏と平家 扇の的 仁和寺にある法師 漢詩の風景	・古文を読んで、登場人物の関係を捉える。 ・古人の思いに触れ、自分の考えをもつ。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査
12	7 価値を語る	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 文法への扉2	・2つの評論を比較しながら読み深める	12	授業中の活動 ワークシート 定期考査
1	読書に親しむ	研究の現場にようこそ	・読書を通して、自分の考えを広げる。	4	授業中の活動 ワークシート 定期考査
2	8 表現を見つめる	走れメロス 文法への扉3	・小説を読んで、人物像を読み取るとともに、自分の考えを広げる。	10	授業中の活動 ワークシート 定期考査

3	木 送り仮名 話し言葉と書き言葉	・詩を読んで、自分の考えを広げる。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査
---	------------------------	-------------------	----	--------------------------

計140時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

・漢字ノート、必修テキストを中心に授業の進度に応じて課題として提示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	主体的に学習に取り組む態度
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重する姿勢が身に付ようとしている。	目的や場面に応じ、適切に話したり話し合ったりして、自分の考えを豊かにしている。	相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かにしている。	目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにしている。	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やさまじり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書いている。
以上の観点を踏まえ、①授業の取組、②課題の提出状況などから、総合的に評価する。				

6 担当者からの一言

国語の学習は「実技教科」と心得てください。「話す」「聴く」「書く」「読む」それらの活動を、授業の中で全力で取り組んで、それらができるように技術を身に付けることが大切です。受け身の態度ではなく、積極的な活動が学力の向上につながります。

(担当：原)